

員モ及モ東主サハ深興闇對ヘ出現モ見テ其ハ即ニ大勢ノシテ  
振應ミ且大半同志ハ士道然ニシテ參照シテ是ニ大體工場監理  
ニシテ其労働委員ハ眞誠ニ陞官スハ贈昇セリ。此ニ既  
セリ。官業勞働統一改カセリ前由ハ相應ニ稱賛大半ニ従ム  
セヘイスハ經セキニシテモス。其人ハ雖モ遺辭ナシ而  
マ車入セム告人ハ至當出處ニ矣スルハ其夫モ又モ人情モ懷舊  
シ未ハ懇諤ニイマヘハ、營業委員モ皆ナ次々謂難開口ニ矣  
ハ猶識者寒心ニシヘセム子ハナキオナス子。

モ父衆チスニモ豈何チヘモセゼクナ・皆ム基ニ官業勞働監理  
廳通ニ寒幽諱ハ此ニ過ハ想多シナス。人ノ輒河セル制諱ハ  
圓滑ハ並列ハ就聲ナハ變ヒハ果詩ニ准此制多々管轄監理ハ

### 宣 言

平井社説頃セ宣言草案ニ附記セラハ因共ハ因共セラ

財團法人協調會大阪支所

所ニシテ此ノ自覺セル一致協同ノ力コソ勞働運動必然ノ道程  
ヲ通シテ一意邁進吾人ノ要望ニ背ガザランコトアルヲ確信ス  
右 宣 言

昭和四年十一月二十三日

### 官業勞働統一組合共立會

#### (②) 主張綱領ノ件

平井長治郎ガ主張草案並ニ綱領草案ヲ朗讀シタ後該件ハ可決

シタ

主 張

- 一、陸軍職工規則並ニ同施行細則ノ改正
- 二、共濟組合規則ノ改正